

## 平成25年度事業計画書

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

平成25年度は公益社団法人として“社会的使命を果たすための更なる活動の展開”を重点目標として定款第4条に掲げる事業を実施する。

平成25年度に実施する具体的な事業計画は次の通りとする。

### I. 会議

#### 1) 総会

平成25年5月30日(木)16時から東京芸術劇場シンフォニースペース(旧大会議室)に於いて定例総会を開催。協会の最高機関として、平成24年度事業報告、収支決算報告並びに平成25年度事業計画、収支予算案に関する承認決議を行い、平成25年度の協会運営の基本方針を決定する。

#### 2) 理事会

定例理事会を年4回開催し協会運営に関する重要事項を審議し業務の執行を決議する。

#### 3) 企画運営会議

定例会議を毎月1回、年12回開催し、理事会の委任を受け業務の執行を代行する。

### II. 委員会

#### (1) 事業委員会

教育研修部会、国際交流部会、編集部会及びインターネット部会を統括し、各部会担当事業の方針を審議決定すると共に、所属部会共通の課題を取り上げ相互の連携を図るため、年間4回の定例委員会を開催する。

平成25年度的最優先課題として協会広報のあり方について審議を行い、機関誌 JATET と JATET JOURNAL の発行形態等の合理化、効率化を図る。

平成25年度における所属各部会の主たる事業計画は次の通りである。

##### 1) 教育研修部会

各種講演会・研修会の実現を図ると共に劇場演出空間施設の見学会を立案、実施する。

##### 2) 国際交流部会

OISTAT 日本センターを通じて劇場芸術国際組織 OISTAT の活動に積極的に参加すると共に韓国産業技術試験院(KTL)との交流、連携を強化する。

又海外関連団体発行の情報誌の概要の翻訳紹介等を行い国際交流事業の発展に努める。

### 3) 編集部会

劇場演出空間全体に亘る情報提供を目的とした機関誌 JATET 及び劇場演出空間技術並びに協会の活動情報を主体とした JATET JOURNAL を発行し会員及び関係先に広く頒布する。

但し事業委員会の審議を受け、機関誌 JATET と JATET JOURNAL の発行の合理化を図る

### 4) インターネット部会

JATET ニュースの定期的な発行を継続すると共に、前年度から実施の JATET ホームページの改善、更新を早期に完成させ公開する。

## (2) 技術委員会

所属 5 部会を統括して部会間の意思の疎通を図り事業活動の活性化を促進することを目的として年 4 回の定例委員会を開催し、協会技術関連事項に関する基本方針を審議決定する。

平成 25 年度における所属部会の事業計画は次の通りとする。

### 1) 建築部会

部会を月 1 回開催し次に掲げる調査研究を前年度からの活動に継続し実施する。又木造劇場研究会を過年度に継続して随時実施する。

(調査研究テーマ)

#### 1. 震災被害からの復旧・復興

震災復興の実情調査 (アンケート及び現地ヒアリング調査)

調査結果の分析

調査報告書の作成と配布

調査結果の報告会の開催

#### 2. 木造劇場の良さの調査と分析

#### 3. 劇場の視察 (新設及び改修の劇場)

### 2) 機構部会

部会を原則として月 1 回開催し、舞台機構関連の JATET 指針、規格等の見直し、改定を行うと共に劇場等演出空間電気設備指針の改定を行う。

平成 25 年度に見直し、改定を行う主なものは次の通り。

- ・ 吊物機構安全指針・同解説
- ・ 舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針
- ・ 吊物バトン積載荷重表示指針
- ・ 舞台機構設備の運用操作の注意事項

### 3) 照明部会

基本方針を審議決定する部会を隔月開催すると共に、調査研究会及びWGを必要に応じ随時開催し次に掲げる項目についての調査研究を行う。

又、前年度に引き続き劇場等演出空間電気設備指針の改定を行うと共に、平成25年度の課題として東日本大震災に関して災害時、緊急時の劇場、ホールの安全に対する対応に関して研究を行う。

平成25年度に部会並びに調査研究会で実施する具体的事項は次の通り。

1. 「劇場等演出空間電気設備指針」の改定  
前年度に引き続き上記指針の改定を電気設備学会と共同で実施し改定版の早期発効を目指す。
2. 「今後の劇場、ホールの照明設備、照明機器に関する調査研究会（仮称）」の開催  
平成24年度迄実施してきた「新光源調査委員会」、「演出空間用制御信号等調査研究委員会」及び「配電圧調査研究委員会」の調査研究が進み、新光源使用の制御とその器具の使用の研究等テーマが複雑化してきたことを受け25年度は上記の通り横断的な研究会を設け、これまでの調査研究委員会をワーキンググループ（WG）として統括して研究会を開催し、必要に応じ外部から研究委員を招請して調査研究を更に拡大発展させる。  
25年度に本研究会又はWGとの合同で実施する調査研究の主要なテーマ、項目は次の通り。
  - ・既存の劇場・ホールへの新光源使用器具の導入に対する問題点（使用電圧、制御信号等）の検証
  - ・LEDを使用した器具の制御チャンネルの拡大に対する制御信号の検討
  - ・新光源の器具と制御信号の実機検証
  - ・今後の劇場・ホールへの新光源器具、伝送信号導入に関する研究
  - ・LED等の新光源を使用した器具と、配電電圧の変更に伴う環境、経済性の研究。
3. 調査研究WGに於いて実施する調査研究  
平成25年度に各調査研究WGにおいて実施する主要な調査研究の項目、テーマは次の通り。尚各WG間でテーマを共有し必要に応じ随時共同作業を行う。  
(新光源調査研究WG)  
現状の演出空間に於ける使用ランプや今後期待されるLEDをはじめとする光源の実態調査を継続する。
  - ・LED及び有機ELなどの今後の動向調査及び実機光源での実験と分析
  - ・現状での演出空間における器具の問題点の把握とその対応策の検討を実施すると共に委員会を開催し成果をユーザーに公表する。

(演出空間用制御信号等調査研究 WG)

前年に継続し各伝送規格の今後の傾向等の調査と分析を行う。

- ・施設保有の制御信号設備と、施設への持ち込み機器との整合条件等の利用者に有益な資料の作成と配布。

(配電電圧調査研究 WG)

前年に継続し次の調査研究を実施する。

- ・エコをテーマとして配電電圧の変更による得失、制約等につきユーザー、メーカー等の聞き取り調査、検討を行う。
- ・海外の配電電圧の状況及び演出空間で使用されている海外製品の使用電圧、接続器等の調査を行い、演出空間における配電電圧変更の可能性の調査、研究を実施する。

4. JATET-L 規格改正調査研究会の開催

平成25年度に定時見直し対象となる次の6規格について「JATET-L 規格改正調査研究会」を設け、継続（確認）・改正・廃止の検討を行う。

- ・ JATET - L - 8110 - 2 「演出空間用調光装置の安全基準」
- ・ JATET - L - 7120 - 2 「漏電感知機能付き調光規格」
- ・ JATET - L - 2160 「演出空間用照明器具のつり下げハンガー（手締式）規格」
- ・ JATET - L - 2170 「演出空間用照明器具の平置きスタンド規格」

5. 劇場・ホールの復興、再生調査研究事業の実施

前年度に引き続き上記事業に照明部会として参加すると共に、本事業の成果を劇場・ホールの災害時の対応についての研究に展開を図る。

4) 音響部会

部会及び分科会（WG）を必要に応じ適宜開催し次に掲げる調査研究事業を実施する。

1. 「劇場等演出空間電気設備指針」の改定

前年度に継続して上記指針の改定を電気設備学会と共同で実施し改定版の早期発効を目指す。

2. 情報の収集と分析・検討

前年度に引き続き分科会として最新かつ必要な情報をグローバルレベルで収集すると共に分析検討を行い報告書を作成し関係先に配布する。

収拾すべき主要な情報は次の通り

- ・ ラジオマイクの周波数移設に関する国内情報及びデータ
- ・ デジタルオーディオネットワークに関する世界の情報

### 3. 標準化推進 WG の開催

電気設備指針の改定と連動してワーキンググループを随時開催し次の指針の見直し、改定を行う。

- ・ 舞台音響に関する建築計画資料の改定
- ・ 劇場・ホールの音響性能測定法の改定
- ・ 舞台連絡設備指針の改定
- ・ 音響電源に必要な条件の整理

### 5) 映像部会

部会、分科会及び研究会合同で月に一回合同部会を開催すると共に適宜臨時部会を開催して、技術革新の著しい映像分野の情報を迅速に収集する共に次に掲げる調査研究事業を実施する。

#### 1. 大型映像システムに関する調査、研究

重点課題として昨年度に引き続き次の2項目の調査研究を継続実施する。

- ・ 劇場、イベント等における大型映像の利用手法
- ・ 大型映像による電子背景

#### 2. JATET 規格の制定

昨年改定した“JATET - V - 1010 自発光方式大型映像装置用語解説集—出力側から見た主な映像解像度一覧表”に引き続き今年度は“映像入出力の端末規格”の制定に取り組む。

#### 3. その他の調査、研究及び講演、研修会を次の通り実施する。

- (調査研究) ビデオ・マッピング、4K・8K映像システム、大型有機EL  
ムービング・プロジェクター、メディア・サーバー 他
- (講演、研修会) 有機ELについて(三菱電機他)  
大型映像スクリーン(NHKアート他)

## III. 特定事業

### 1) 「劇場等演出空間電気設備指針」の改定

前年度に継続して技術委員会及び機構、照明、音響部会が参画の上、上記指針の改定を電気設備学会と共同で実施し改定版を発行し会員並びに関係先に頒布する。

又、協会会員向けの説明会を開催する。

### 2) 「劇場・ホールの復興、再生調査研究事業」の実施

特定事業費用準備金対応事業として前年度から実施の上記調査事業を継続して実施する。今年度は本事業の集大成として調査報告書を作成し関係先に頒布する。

又最終報告会を実施する。

### 3) 講演会、研修会の開催

教育研修事業の一環として、協会内外から学識経験者等を広く招き劇場演出空間に関連した講演会を開催すると共に、技術委員会及び各部会の調査研究成果についての発表研修会を適宜開催する。又テーマ内容によっては協会全体の事業として **JATET FORUM** の開催を検討する。

今年度の実施予定の講演会、研修会は次の通り。

#### 1. JATET サロン

昨年から開始した若手会員及び学生を対象とした研修会“JATET サロン”を今年度は4回開催する。

#### 2. 部会研修会

今年度は建築部会及び映像部会が開催を計画。

### 5) 劇場演出空間施設見学会

年4回を目標とした劇場演出空間施設の見学会を随時開催する。

### 6) 機関誌 JATET 及び JATET JOURNAL の発行

劇場演出空間全般に関する情報提供を目的とした機関誌 JATET 及び劇場演出空間技術並びに協会活動情報の提供を目的とした JATET JOURNAL をそれぞれ発行し会員及び関係先に頒布する。

以上